

	<p>日本プライマリ・ケア連合学会 中国ブロック支部</p>		<p>発行人:田妻 進 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 広島大学病院 総合内科・総合診療科 Tel&amp;Fax:081-82-257-5461</p>
---	------------------------------------	--	---

## m-HANDS-FDF 2018 第1回の報告書

中国ブロックでの指導医講養成の報告

岡山家庭医療センター奈義ファミリークリニック・松坂内科医院 松坂英樹

岡山家庭医療センター奈義ファミリークリニック 松下明

【m-HANDS-FDF】(modified・Home and Away Nine DayS – Faculty Development Fellowship)

JPCA-MLなどで募集して中国地方の指導医6名が全5回のコースに参加されています。6名はそれぞれ3人ずつのチームを作り、模擬ティーチングなど協同して行ってもらいます。以下に全体の概要と実際参加された指導医からの報告の一部を掲載しますのでご一読ください。2019年度も同じような枠組みを予定しています、ご興味のある方はご相談下さい。

---

<目的>

中国ブロックの指導医養成

<対象>

- ・中国ブロックに所属しており、家庭医療後期研修を終了した医師
- ・中国ブロックの家庭医療後期研修に関わる指導医

### Core Competence : Adult Educator(成人学習支援者)

学習者と向き合い、その学びに気を配り、学びの場をサポートできる

教育者の役割と限界を知り、学習者と協同的に学び、生涯学習者を育てる姿勢で関わる

学習者の学びを促進するための理論と技術を適切に用いることができる

---

## m-HANDS-FDF 2018 第1回の報告書

1 日目

### ・オリエンテーション/アイスブレイク/FD 概論

なぜ医学教育を学んでいくのかの説明、今までの医学教育について4コマ漫画を題材にした説明があった。その後、アイスブレイクとしてレゴで自分にとっての教育をイメージして作品を作成した。各々が個性あふれる作品を作り、まだまだ緊張していた中にも、徐々に打ち解けていくことができた。

### ・教育理論総論

成人学習について誤解していることが多かったなど、前までは成人教育とは年をとって記憶力が落ちて頑固だから、学習者中心の勉強にするしかないのだと思っていました。今回の学びを通じて、成人学習は、問題意識があ

り、学びたいというモチベーションがあり、それに向かって学ぶものであること。成人教育は無理やり詰め込むのではなく、学習者をサポートしてあげれば、勝手に学んでいくものなんだということがわかった。成人教育に対する嫌悪感がなくなりました。今後は安心して成人教育の道を歩んでいくと思います。

#### ・フィードバック

フィードバックの定義、目的が達成されやすくなる前提条件 (FAST feedback : Frequent、Accurate、Specific、Timely)、実施する際のスキル (開始直前の再確認、受け入れ準備の促し、学習者の自己評価、サンドイッチ法 (Positive-Negative-Positive : PNP 法)、具体的な伝達、強さの使い分け) 等を確認した上で、グループ内で指導者-学習者-観察者を順番に担当し、ロールプレイを行った。自分のフィードバックに対するフィードバックを受けることで、意識的に行っておくべきであったことが明らかとなった。実地での実践における課題として努力していきたい。

#### ・外来教育 5MS

5 micro skills は、普段の外来診療など限られた時間の中で学習者に対して効率よくフィードバックを行う方法一つです。はじめに5 micro skills について講義を受け、その後チームごとに、3人が指導医役、学習者役、評価者役に別れてロールプレイを行いました。普段、初期研修医に対して5 micro skills を意識してフィードバックを行っていますが、実際にロールプレイを行うと、効果的にフィードバックを行うにはどのようにしたらよいか、どのような場合が適さないのか、なぜうまく行かないのか非常に考えさせられ勉強になりました。今日学んだことを実際に明日からの診療で効果的に活用したいと思います。

#### ・ファシリテーション

ファシリテーションについての自己分析を事前に行った後に、ファシリテーションの概要を学んだ。大きく分けると「発散」と「収束」の2つの段階に分かれることを知った。その後、「医療チームにファシリテーションを導入するためにはどうすればよいか？」という題について受講生でグループワークを行った。「発散」と「収束」の過程を意識しながら身をもって経験することができた。

#### ・私の主張 (プレゼンテーション)

私の主張のセッションでは、各フェローが仕事以外のお勧めのこと、ものを持ち時間3分でプレゼンテーションしました。他のフェローのプレゼンでは仕事以外の一面が垣間見れ、楽しく聞かせてもらいましたが、自分の発表時はこの日で最も緊張した瞬間でした。

### 2日目

#### ・チームビルディング

チームとグループの違いを学び、ヘリウムリングを通してチームとして機能したこと、機能しなかったこと、さらに良くなるためにはどうしたらよいかを考えた。また、フェローがチームとなるために、コース終了時になっている姿を宣言した。この経験により、フェローはチームとなったと私は確信している。

#### ・カリキュラム開発

カリキュラムというのはこれまで厚生労働省などのお上が作成してそれを各病院が実行していくものと思っていた。今回学んだのは、ニーズを見出して、ニーズを満たすために目標を定めていくというやり方でこれは目からうろこでした。これを学んで、今後カリキュラム開発に携わるようになれば、これまでの従属型のカリキュラムではなく、自分たちで考えたニーズに対して自分たちで目標設定、方略、評価をしていく主体的なカリキュラム作りが

できるようになることでしょう。

#### ・シネメデュケーション

シネメデュケーションとはどのようなもので、どのような効果があるのか、シネメデュケーションを行う理由など紹介を受けた。その後、実際に2つの映像を見て、フリートーク形式で意見や感想をグループ内で語り合った。映像で与えるインパクトの強さもさることながら、同じ映像に対する受け止め方が様々であったことが印象的であった

(今後の予定)

第2回 in 広島 10月13日(土) - 10月14日(日)

第3回 in 山口 12月8日(土) - 9日(日)

第4回 in 岡山 1月19日(土) - 20日(日)

第5回 in 岡山 調整中

見学も可能ですので興味がありましたら、ぜひご連絡ください。

質問等ありましたら、[hdk@matsuzaka@gmail.com](mailto:hdk@matsuzaka@gmail.com)までお問い合わせください。

#### 集合写真



